

1 単元名・教材名

想像力のスイッチが使えるコメンテーターになろう・「想像力のスイッチを入れよう」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童について

本学級の児童は、読書を好む児童や新しい学習に対して興味をもって取り組む児童が多い。しかし、既習内容の習得には個人差が大きく、また、自分の考えを発表することを苦手とする児童もいる。

本単元を実施するにあたり、児童の実態を把握するためにアンケートを実施した。

調査日 令和3年1月8日 調査人数 名

1. 国語は好きですか。	好き 名	どちらかという と好き 名	どちらかという と嫌い 名	嫌い 名
2. 説明文の学習をどう思いますか。				
好き 名	理由：知識が増やせる 名、新しいことが学べる 名、大事なことをまとめるのが楽しい 名			
どちらかという と好き 名				
どちらかという と苦手 名	理由：読み取るのが難しい 名、長い文を読むのが苦手 名、大事な所を見つけるのが難しい 名、要旨の意味は分かるがそれを見つけるのが苦手 名			
苦手 名				
3. 情報を集めるのときに使っているメディアは何ですか。	新聞 名	テレビ 名	ラジオ 名	インターネット 名

アンケートの結果、クラスの児童のうち %の児童は国語の学習が好きで、 %の児童が説明文も好きだと回答していた。しかし、国語が嫌いな児童は説明文の学習も苦手と答えており、国語は好きでも説明文が苦手という児童も数名いた。理由として、文章の中から大事な部分を読み取りまとめることが苦手と答えている児童が多い。また、本単元で扱うメディアとの関わりについては、速報性に優れ映像や音声、文字など多様な方法で情報を提供するテレビや、速報性に優れ誰もが情報の発信者になることのできるインターネットを活用する児童が多く、一つ一つのニュースを掘り下げて紹介する新聞や音声を使って情報を提供するラジオを活用する児童は少ないということが分かった。

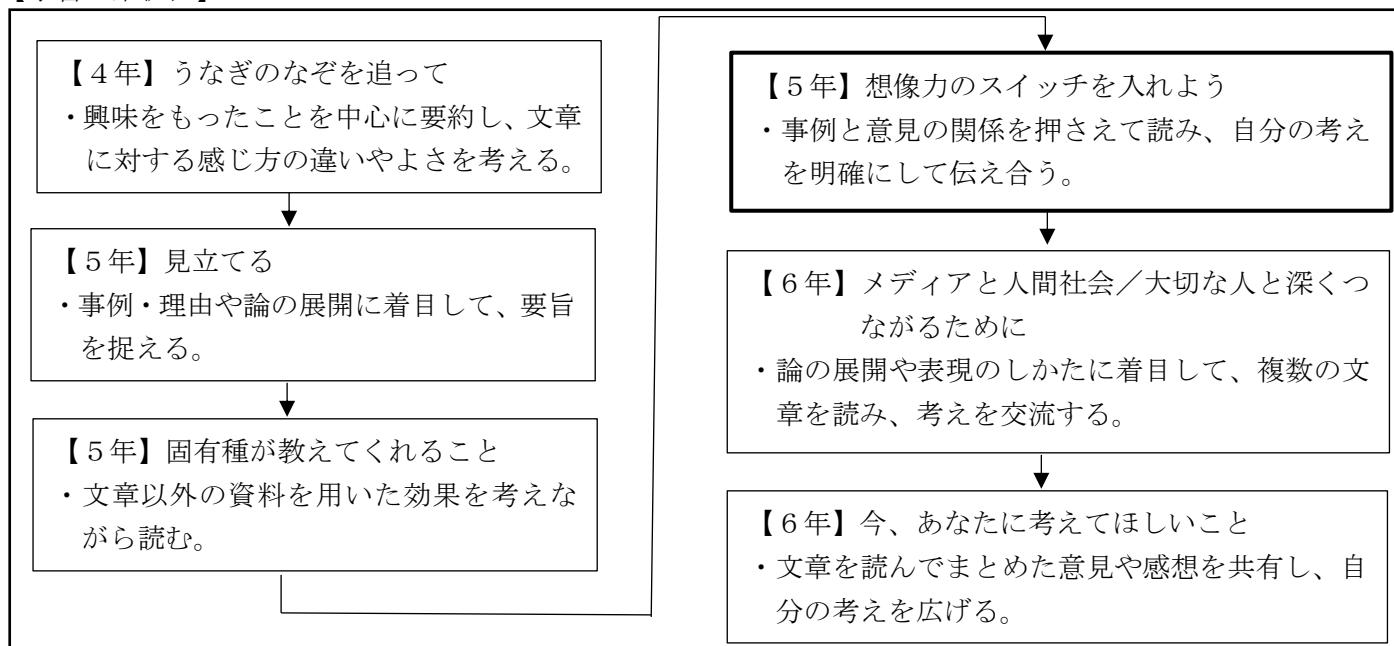
(2) 教材について

本単元は、事例と意見の関係を押さえて筆者の考えを読み取った後に、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめ、互いの考えを交流するという学習活動に取り組む。

本教材は、メディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力について、事例を挙げながら考えを述べている。いくつかの分かりやすい事例を挙げ、「想像力のスイッチ」という比喩を用いながら主張を展開することで、児童がメディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力は何かを分かりやすく伝えている。

また、「もっと読もう」では、四つのメディアの特徴と留意点が記されており、メディアとの関わりについて自分の考えをまとめる際の手がかりとなる。

【学習の系統性】



(3) 指導について

本単元の第1次では、社会科の学習でも学んだ「メディア（テレビ、新聞、ラジオ、インターネットのような情報を得る手段）」とどのように関わっていったらよいかを考え伝え合うという最終目標を確認し、自分自身のメディアとの関わり方について意識させる。第2次では、本文の3構成を確認し、それぞれを要約して文章全体の要旨を把握する。一つ目のまとめりでは、メディアから発信される情報を受け取る際、思い込みを減らすために「想像力のスイッチを入れる」必要があることを、マラソンの事例と凶形の事例を使って述べている。二つ目のまとめりでは、そのスイッチとは、「まだ分からないよね。」「事実かな、印象かな。」「他の見方もないかな。」「何がかくれているかな。」の四つであることを、サッカーチームの監督就任についての報道の事例を通して述べている。「事例」と「意見」に着目して表に整理しながら読み取っていくが、読み取りを苦手とする児童がいることから、文末表現や接続語に着目して見つけられるよう指導したい。また、四つのスイッチについて言葉では分かっても、実際にどう活用するか悩むことも考えられる。そこで、スイッチを使って本文の事例を丁寧に読む活動を行い、「想像力のスイッチを入れる」よさについて感じられるようにしたい。そして3構成の三つ目のまとめりで述べられている「メディアを活用するときは、思い込みを防ぎ正しく情報を得るために想像力のスイッチを入れてほしい」という筆者の考えの理解につなげたい。

さらに、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめる際には、よく利用していると回答のあったテレビやインターネットとの関わり方を中心に留意点を確認し、自分の中で特に意識して入れようと思うスイッチはどれかを考えさせながら取り組ませたい。そして、互いの考えを交流し合い深めさせたい。

埼玉県学力・学習状況調査を活かした指導改善の工夫

令和2年度埼玉県学力・学習状況調査の学習方略・非認知能力の結果を分析してみると、本年度の県平均はすべての項目で上回っているが、前年度からの変化量では柔軟的方略、作業方略、認知的方略がやや下回っていた。分からないことがあった時にいろいろな方法で考えてみることに、大事だと思ったところをノートにとったり繰り返し学んだりすること、今まで学習したことと関連があるか考えながら取り組むということに対して、やや苦手と感じる児童が出ていることが分かった。また、国語の学力レベルの結果を分析してみると、最大16段階差があり、学力差が大きいことが分かった。



分析結果を生かし、本単元では…

内容や考えの中心となる事柄を見つける際、1学期から活用してきた見つける視点（文末表現や接続語等）を掲示したり事前に復習したりする。それを活用し、自分で方法を選んで読み取りができるようにする。

まとめや振り返りの時間を確保し、自分の言葉で大事だと思ったことや学んだことを言葉で表す活動をしっかりとり、その意見を交流させて考えを深められるようにする。



本単元での指導を通して…

内容や考えの中心となる事柄を見つけた時、何に着目したかという視点を明らかにしながら交流することで、読み取る力を高める。さらに、自分の言葉で大事だったことや学んだことを書き、交流し合うことで、考えを深め主体的に取り組めるようにする。

3 研究主題との関わり

(1) 研究テーマ

国語科を中心とした思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫
～基礎・基本を確実に身に付け、伝え合う力を高める活動を通して～

(2) 本単元で身に付けさせたい基礎・基本

- 事実と感想、意見などとの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えることができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(3) 研究の仮説に対する具体的な手立て

仮説：文章を正確に読み取り、根拠をつけて話したり書いたりできれば、基礎・基本が身に付き、思考力、判断力、表現力が高まるであろう。

【手立て】

○教材・導入の工夫

- ・「サッカーチームの監督就任についての報道の事例」をはじめに紹介し、事実かどうかを推理させることで、メディアとの関わり方について興味をもって取り組めるようにする。

○読む力を育成するために

- ・文末表現や接続語に着目して、「事例」と「意見」の区別をつけられるようにする。
「～のである。」、「～が大切である。」、「まず」、「そして」、「次に」、「さらに」、「このように」等
- ・「想像力のスイッチ」、「まだ分からないよね。」「事実かな、印象かな。」「他の見方もないかな。」「何がかくれているかな。」の四つを、本文の事例以外にも事例を用意して「想像力のスイッチ」を活用して確かめ、理解を深められるようにする。
「まだ、分からないよね。」「何がかくれているかな。」の事例
→「日本のプロ野球チームに所属するS氏が、海外チームと交渉に入った。」という記事

「事実かな、印象かな。」の事例

→「雪がふっていたせいか、電車が5分遅れた。」という記事

「他の見方もないかな。」の事例

→「人が走っている絵」「犬が走っている絵」とその順序を入れ替えた絵を見せて

→「いじめの相談が、去年より増えた。」という記事

○伝え合う力を育成するために

・ペアやグループの交流の場を意図的に設定し、自分と相手の考えを比較しながら聞くことを意識させる。

○書く力を育成するために

・ノートと併用してワークシートを活用し、3構成と要旨、「事例」と「意見」等を表にして整理させる。

・毎時間振り返りを自分の言葉で書く活動を行う。

4 単元の目標

(1) 文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 〈知識・技能〉(1)カ

(2) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)ア

(3) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)オ

(4) 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉C(1)カ

(5) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

5 単元で取り上げる言語活動

実際の記事を読み、想像力のスイッチを使ってわかったことや考えたことを、コメンテーターになって話し合ったり文章にまとめたりする。(関連：言語活動例ア)

メディアとの関わり方について、自分の考えをコメンテーターになって交流する言語活動を設定する。教材を読む中で、筆者が挙げた複数の事例の意味を考え、自分自身や身近なところにメディアとのつながりがあることに気づき、メディアとの関わり方について四つの想像力のスイッチを使うことの必要性を考えるとともに、自分の考えをまとめ、伝え合う。

6 単元の評価規準

	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1)カ	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (C(1)オ) ③「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 (C(1)カ)	①積極的に意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について話し合おうとしている。

次	時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ○単元扉を読み、題名などからどのような文章の内容かを想像する。 ○全文を通読して感想や考えをもつ。 ○学習課題を設定し、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画の立て方 ・要旨の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○事例を紹介し、事実かどうかを推理させ、メディアとの関わり方について興味を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【思考・判断・表現②】 発言、ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名や事例に関心をもって通読し、初発の感想を持っている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主体的に取り組む態度①】 発言、観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を捉え、学習計画を立てようとしている。 </div>
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ○「メディア」について、筆者が説明している部分を見つけ、理解する。 ○文章全体を大きく三つのまとまりに分け、それぞれにどんな内容が述べられているかを簡単にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要旨の把握 ・文章全体の構成の捉え方 	<ul style="list-style-type: none"> ○「メディア」という言葉の共通理解を図る。 ○3部構成の分け方を、接続語や文末表現、要約を考えながら根拠をもってできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【知識・技能①】 発言、ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の構成や展開の特徴について理解している。 </div>
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○3部構成の「はじめ」のまとまりにおける事例に対する筆者の意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現や接続語の活用の仕方 ・事例と感想、意見などとの関連 	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな事例や筆者の考えが述べられているかを、文末表現や接続語から推理させ、見つけられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①】 発言、ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 </div>
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○3部構成の「中」のまとまりにおける事例に対する筆者の意見をまとめ、事例を挙げて説明する効果を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文末表現や接続語の活用の仕方 ・事例と感想、意見などとの関連 	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな事例や筆者の考えが述べられているかを、文末表現や接続語から推理させ、見つけられるようにする。 ○なぜ四つのスイッチが必要かについて、事例や筆者の考えを整理して考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①】 発言、ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 </div>

	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3部構成の「終わり」における「想像力のスイッチ」という言葉を使った筆者の意図を捉え、自分の考えをもつ。 ○ 「もっと読もう」を読んで、メディアとの関わり方について自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨の再把握 ・ 自分の考えの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「想像力のスイッチ」の必要性を今までの事例と意見から整理し、自分自身が身に付けるべき「想像力のスイッチ」を考えさせながら自分の考えをしっかりと持てるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【思考・判断・表現②】 <u>発言、ノート</u> ・ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> </div>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「想像力のスイッチ」を活用して、コメンテーターになり、記事を読み、考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の内容が明確になるような説明の仕方 ・ 自分の考えと相手の考えの比較 ・ 自分の考えの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの「想像力のスイッチ」を活用するか考えて記事を読ませる。 ○ 今後のメディアとの関わり方について自分の意見を持たせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主体的に取り組む態度①】 <u>発言、観察</u> ・ 積極的に意見や感想を共有して、自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、メディアとの関わり方について話し合おうとしている。</p> </div>
第三次	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループに分かれて文章を読み合い、感想を伝え合う。 ○ 交流を振り返って、取り入れたい友達の考えなどをまとめる。 ○ 単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと相手の考えの比較 ・ 自分の考えの再構築 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【思考・判断・表現③】 <u>発言、ノート</u> ・ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に取り組む態度①】 <u>発言、ノート、観察</u> ・ 交流を通して、筆者の意見に対する自分の意見が広がったかという点で、単元全体を振り返ろうとしている。</p> </div>

8 本時の学習指導（本時4／7）

(1) 目標

- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 C (1) ア

(2) 評価規準

- 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 **【思考・判断・表現】**

(3) 本時の具体的な手立て

	△ (国語ステップ1)	○ (国語ステップ2)	◎ (国語ステップ3)
判断状況	筆者の挙げた事例と意見を正しく押さえることができない。	筆者の挙げた事例と意見を正しく押さえることができる。	筆者の挙げた事例と意見を正しく押さえ、「想像力のスイッチ」を入れる必要性を説明している。
指導支援	文末表現や接続語から推理させ、見つけられるようにする。	四つの「想像力のスイッチ」を入れる必要性を筆者の意見から考えるよう助言する。	

(4) 展開

過程	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (・) 評価 (◎○△) 手だて→	時間
つかむ	1 既習内容を振り返る。	○前時までの学習内容の想起	<ul style="list-style-type: none"> 「想像力のスイッチ」を入れることが大切である理由を2つの事例で整理したことを確認する。 学習計画に基づき、本時はどんな「想像力のスイッチ」が大切かを考えることを押さえる。 	2
	2 学習課題をつくる。 なぜ「想像力のスイッチ」が必要かを、事例と筆者の意見から読み取ろう。	○課題づくり		3
考える	3 学習の見通しをもち、個の読みを行う。 <ul style="list-style-type: none"> サッカーチームの監督就任についての報道の事例について、児童が最初に受けた印象を確認したあと、筆者の意見を整理し、どんなことを考える「想像力のスイッチ」が必要かを整理する。 残り二つの事例を確認し、それぞれどんな筆者の意見と「スイッチ」が述べられているか、またなぜ4つの「想像力のスイッチ」が必要かを個々で考える。 ※「国語ステップ」の記入	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の手だて ○文末表現や接続語の活用の仕方 ○事例と意見との関連 	<ul style="list-style-type: none"> 最初の事例については、全体で筆者の意見を整理し、筆者が大切だと考えていること、そのためにどんなことを考える「想像力のスイッチ」が必要かを確認し、その後の個の読みに活かせるようにする。 文末表現や接続語を活用し、筆者の意見や考えの大事な部分を正しく抜き出せるようにする。 「国語ステップ1・2・3」を活用し、児童の実態を把握し、適切な声掛けを行う。 	20

伝え合う	<p>4 思考を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を、根拠をもとに話す。 ・友達の考えを自分の考えと比較しながら聞く。 ・事例と意見を表にまとめる。 ・四つの「想像力のスイッチ」が必要な理由を、筆者の意見をもとに話し合い、まとめる。 	<p>○事例と意見との関係</p> <p>○分かりやすい説明の仕方</p> <p>○自分の考えと相手の考えの比較</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えに対する根拠を示しながら話すようにする。 ・「想像力のスイッチ」を活用して事例をどう読み解くかを確認する。習得に不安が残る場合は、別の事例を取り上げて確認する。 <p>【思考・判断・表現①】 ワークシート、観察</p> <p>◎筆者の挙げた事例と意見を正しく押さえ、「想像力のスイッチ」を入れる必要性を説明している。</p> <p>→四つの「想像力のスイッチ」を入れる必要性を筆者の意見から考えるよう助言する。</p> <p>○筆者の挙げた事例と意見を正しく押さえることができる。</p> <p>→文末表現や接続語から推理させ、見つけられるようにする。</p>	15
振り返る	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>思いこみや推測によってだれかを苦しめたり、だれかが不利益を受けたりしないよう、四つの「想像力のスイッチ」が必要である。</p>	○要点のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・四つのスイッチとそのスイッチが必要な理由を確認し、児童の言葉でまとめられるようにする。 ・「想像力のスイッチ」がないとどうかという視点で考えさせ、スイッチを入れる良さをまとめさせる。 	5
	6 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめる。	○自分の考えの形成		

(5) 板書計画

<p>思いこみや推測によってだれかを苦しめたり、だれかが不利益を受けたりしないよう、4つの「想像力のスイッチ」が必要である。</p>	<p>四つの「想像力のスイッチ」が必要な理由は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い込みや推測で苦しめてしまうから（監督になる・さけている） ・誰かが不利益を受けてしまうから（A氏に仕事が来ない） <p>（まとめ）</p>	<p>Aさんは、来月から予定していた外国での仕事を、最近、キャンセルした。</p> <p>『他の見方もありうることに気づく。』</p> <p>『他の見方もないかな。』</p> <p>・伝えていないことについて想像力を働かせる。</p> <p>『何がかくれているかな。』</p>	<p>Aさんは、報道陣をさけるためか、裏口からにげるように出ていきました。</p> <p>『冷静に見直す。』</p> <p>『事実かな、印象かな。』</p>	<p>サッカーの人気チームで監督が辞任することになり、Aさんが新しい監督になるのではないかと注目が集まっている。</p> <p>『まだ分からないよね。』</p> <p>・結論を急がない。</p>	<p>なぜ「想像力のスイッチ」が必要かを、事例と筆者の意見から読み取ろう。</p>	<p>二月二日 火曜日</p> <p>「想像力のスイッチを入れよう」</p> <p>（課題）</p>
		<p>筆者の意見・考え</p>				